

習字セットの使い方

★じょうぶで使いやすく、安全な習字用具です。

★用具は大切に扱い、ていねいに洗ってかたづけましょう。

主な習字用具の名前

※他にもさまざまな用具があります。

すずり



表→硯

裏→ぼく池

下じき



大筆 小筆



筆まき



文ちゃん



すみ



ぼくえき



みずさし



★使用上の注意★

- 用具はていねいに使しましょう。
- あやまって飲み込んだりしないように気をつけましょう。
- 絶対に火のそばに置かないでください。燃えたり溶けたりすることがあります。

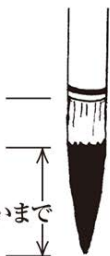
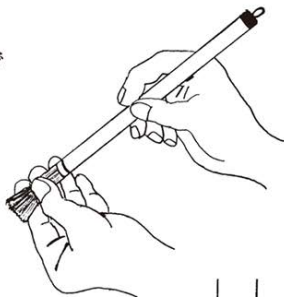
あおば

大筆のほぐし方・かたづけ方

- ・筆のほは、のりでかためてあるので手でほぐして使います。
- ・筆を回しながら、ほの半分以上3分の2くらいまで手でほぐします。
- ・ほぐした所まで、すみをふくませて書きます。
- ・書き終わったら、筆にのこったすみを紙などでふきとり、水できれいにあらいます。

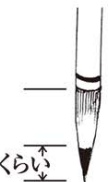
※学校であらえない場合は、家で早めに
あらいましょう。そのままにしておく
と毛がぬけたり、カビの原因になります。

- ・水気を切り、ほ先をそろえてから筆まきに巻いてかたづけましょう。



小筆のほぐし方・かたづけ方

- ・小筆は、3分の1くらいまで手でほぐして使います。
- ・書き終わったら、紙や布などでほ先を整えながらすみをふきとりましょう。
- ・水あらいはしません。



☆筆についてのお願い

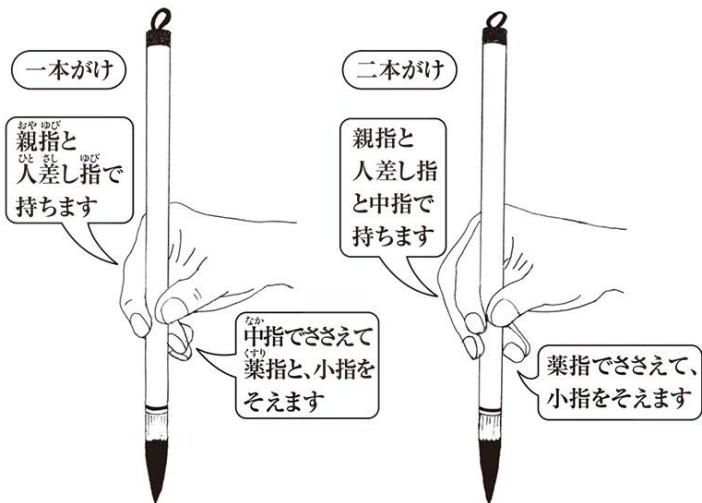
透明キャップは送品保護用です。

すみが残ったままでキャップをするとカビが生えたり毛が腐る原因になりますので、必ずすててください。



筆の正しい持ち方

- 筆の持ち方は二種類あります。(二本がけ・一本がけ)
- 軸の真ん中より少し下くらいを持って書きましょう。



- 筆は、えん筆より少し立てて持ちましょう。
- ほ先は、左ななめ上を向けて書きましょう。

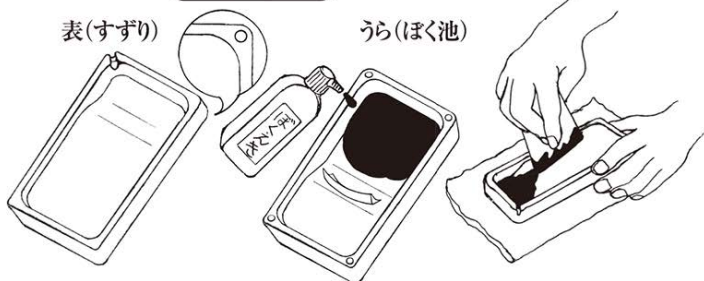


すずり・ぼくえきの使い方

- ・すずりの表面はすみをすって使い、裏面は、ぼく池として使えます。
- ・すみをする時に動かないように、すべり止めゴムがついています。
- ・あまったすみやぼくえきは、紙などでていねいにふき取り、すずりは水で洗ってきれいにしましょう。

※あまったぼくえきを、容器にもどさないでください。

すべり止めゴム



すみのすり方

- ・すずりに、水さしで水を入れてすみをすります。
- ・あまり力を入れすぎないように、ゆっくりとすりましょう。
- ・すり終わったすみは、水分をしっかりとふき取ってかたづけましょう。

※ぬれたままにしておくと、ひび割れの原因になります。

